自分を守る！	▶初動体制の構築	役割やルールを決める

007	障害のある子どもと家族に向けた 防災冊子やリーフレットの作成		
	取組主体		
	全国特別支援学校知的障害教育校 ＰＴＡ連合会		
	従業員数	想定災害	実施地域
	(865 校)	全般	全国

・障害のある子どもと家族に向け、リーフレット「子どもの命を守る　初めての安心セルフプラン」と「安心手帳」を作成し、全会員へ配布、あらゆる人が閲覧できるようにホームページで公開。

1　取組の概要

東日本大震災の教訓を生かした意識啓発事業の継続的な実施

・全国特別支援学校知的障害教育校ＰＴＡ連合会は「障害のある子どもと家族の命・身体を守る」ために啓発事業に取り組んでいる団体である。

・同連合会は、東日本大震災の教訓から「各家庭での備え」「支え合うネットワークづくり」「被害を軽減するための対策」を進めることは急務であり、平時からの取組が必要であることを認識してきた。

・そこで、2011 年から 2021 年にかけて、防災・減災の意識喚起と理解啓発を図る様々な事業を実施し、作成した防災冊子やリーフレット等を会員校に向けて配付してきた。

自助意識を高める防災啓発リーフレットと「安心手帳」等を作成

・東日本大震災から 10 年目となる 2021 年３月には、「BOSAI サイドブック ～レジリエンスをめざして～」シリーズの第３弾として、防災啓発リーフレット「子どもの命を守る　初めての安心セルフプラン」と別紙「安心手帳」を作成した。

防災啓発リーフレット
表紙

・防災啓発リーフレットは、災害時に子どもを守るためのポイントを保護者向けにわかりやすく伝えるものである。想定される災害ごとに、障害のある子でも取り組める防災意識向上のためのポイントや保護者が防災のために準備しておくべきものなどが記載されている。

・「安心手帳」は、知的障害のある子ども本人に向けて、災害が起きた際にとるべき行動が順にまとめられており、家族がその子にどのような配慮が必要か記入して、周囲の人に伝えられるようになっている。

・防災啓発リーフレットと「安心手帳」の作成にあたっては、特別支援学校の安全・防災教育に造詣の深い識者に執筆を依頼し、「障害のある児童・生徒の命を守るために、どのようなことが必要かを知り・考え・実際に計画を作るきっかけとする」ことを念頭に作成した。

安心手帳

2　取組の特徴（取組の狙い、工夫した点、差別化した点等）

ホームページを通じた配布によってリーフレット等の活用を促進

・障害のある児童生徒やその家族をはじめとして、必要な人が広く活用できるように、作成した防災啓発リーフレットと安心手帳は全会員に配付するとともに、ホームページからのダウンロードを可能にした。

国土強靭化

※全国特別支援学校知的障害教育校ＰＴＡ連合会のホームページ
（https://www.zenchipren.jp/activity/bousai_sidebook.html）

わかりやすく・使いやすいデザイン

・デザインと編集は、同連合会の会長と防災士の資格を有す顧問、事務局が行った。特に「安心手帳」については、平時からリュックやバッグに携帯できる小さなサイズを担保しつつ、一目で支援を求めていることが分かる表示があり、保護者が難しく考えず気楽に記入できる様式となるよう、検討を重ねた。その結果、畳むと A6 サイズのノートに見え、裏面にはヘルプマークを貼付したデザインとなった。「安心手帳」の内容には、わが子の行動に加え、援助を求める内容についての記入項目等も盛り込んだ。なお、ヘルプマークの使用に当たっては、東京都福祉保健局に申請書を提出し、承認を得ている。

3 取組の効果

・知的障害のある子どもの保護者や、特別支援学校の先生から、リーフレット・「安心手帳」を活用しているとの声が多く届いており、継続的にたくさんの方々に活用いただいていると感じている。

4 取組への想い

・本取組のリーフレットと「安心手帳」は、東日本大震災から 10 年目の 2021 年に向けて、同連合会に所属する保護者が主体的に各家庭での備えに取り組めることを願い、作成されたものである。

・「安心手帳」については、セルフプランに必要な項目は状況によって異なるため、すべてを網羅できず、大まかで限定的な内容になることが懸念された。しかしながら、一人ひとりに、わが子にとって真に活用できる「安心手帳」の完成を目指してほしいと願いつつ、作成を継続した。

5 防災・減災以外の効果

・「安心手帳」には、災害時の行動に加え、「防犯・行方不明対策」に関する記入項目を設けた。平時から携帯することにより、防犯効果も期待できる。

・「安心手帳」については、地元の新聞等、メディアにも取り上げられた。

6 現状の課題・今後の展開等

・「安心手帳」を作成・携帯しているからといって、災害時の安心が保証されるわけではない。障害のある子どもたちが大きな災害から自分の命や身体を守れるようになるためには平時の練習が欠かせない。今以上に学校や地域において、様々な催事や防災訓練を行っていく必要がある。

7 周囲の声

・「防災リーフレットと『安心手帳』があるおかげで、家族で防災の対策ができて大変ありがたい。」（特別支援学級に通学する子どもの保護者）

・「防災リーフレットと『安心手帳』の導入を機に、防災の学習会開催や防災グッズの購入など、PTA でも防災意識が高まった。」（特別支援学校の PTA 会員）

担当者の声

・家庭での自助の備えについて、さらに確認してほしいと願い、リーフレットと「安心手帳」を作成した。作成後に改めて、障害の有無にかかわらず、命を守るためのセルフプランは誰にとっても必要なことと感じている。私たちは誰しも、いつも元気でいられるとは限らない。急に具合が悪くなり、誰かの助けを必要とする場合がある。だからこそ、家族一人ひとりの状態や必要に応じた「安心手帳」を作り、自助バックと共に携帯したい。

問合せ先	動画	サイト URL
全国特別支援学校知的障害教育校ＰＴＡ連合会 電話番号：03-3433-7651　FAX：03-3433-7652 E-Mail：info@zenchipren.jp URL：https://www.zenchipren.jp/	―	